

AV レシーバー

RX-A3020
RX-A2020

かんたん設置ガイド



本書では、9.1 チャンネルシステムを設置して、
本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。
詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

本書と「取扱説明書」の PDF 版を以下のウェブサイトからダウンロードで
きます。

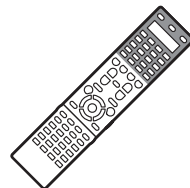
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

1 準備する

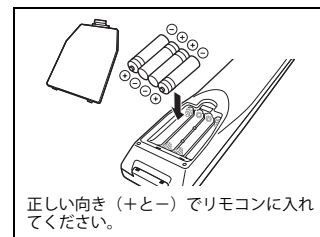
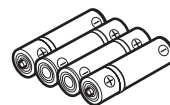
付属品を確認する

すべて揃っていることをお確かめください。

☐ リモコン



☐ 単 4 乾電池 (4 本)



☐ 電源コード



☐ AM アンテナ



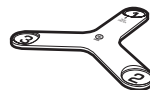
☐ FM アンテナ



☐ YPAO 用マイク



☐ マイクベース
(RX-A3020 のみ)



☐ 取扱説明書



☐ かんたん設置ガイド (本書)



YPAO の角度測定時に使います。

・ 本書は RX-A3020 のイラスト（本体、リモコン、画面表示）を例に説明しています。

必要なケーブル

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

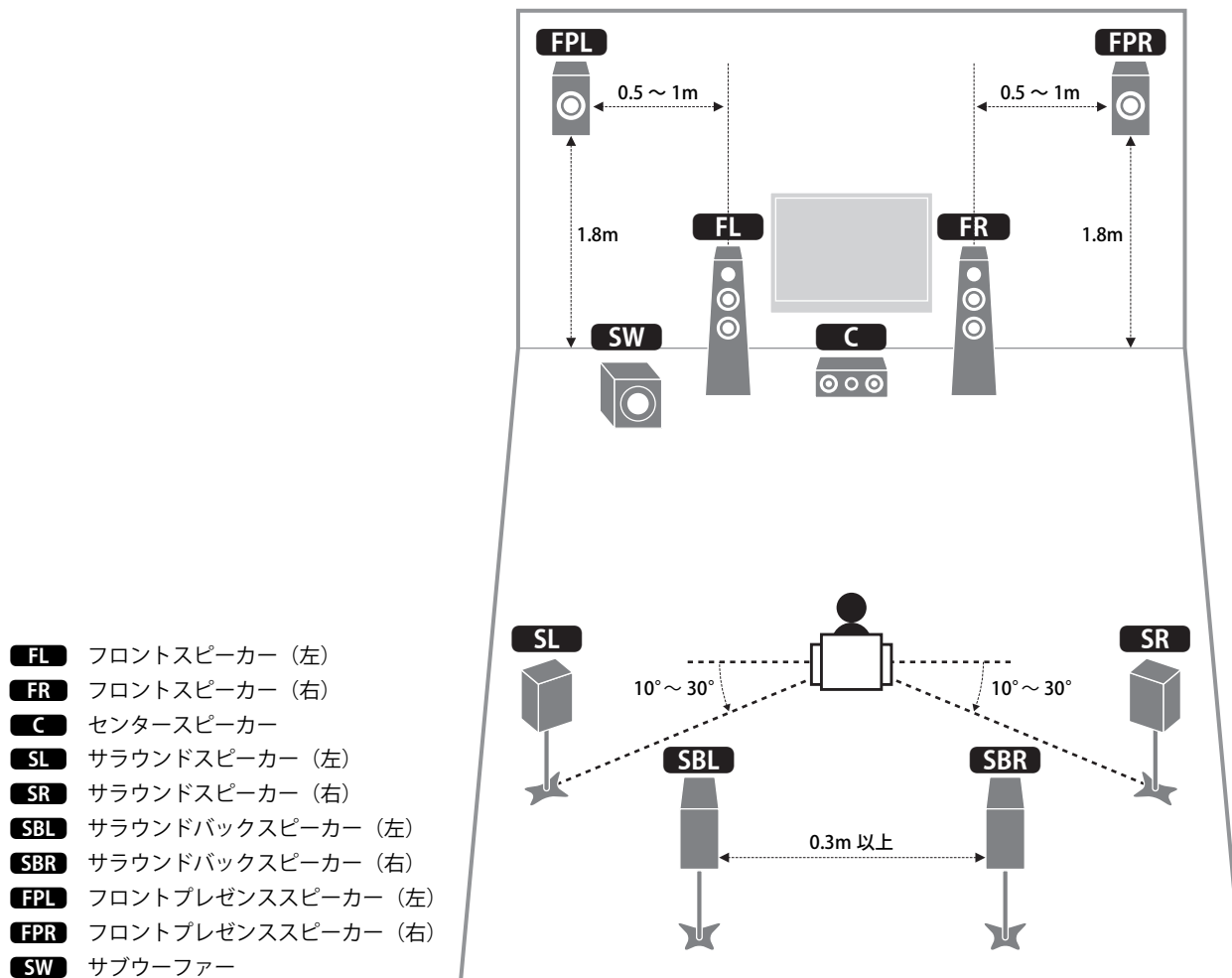
- ・ スピーカーケーブル (9 本)
- ・ HDMI ケーブル (2 本)
- ・ モノラルピンケーブル (1 本)
- ・ 光デジタルケーブルまたはステレオピンケーブル (1 本 *)

* テレビがオーディオリターンチャンネル (ARC) 対応の場合は不要

2 スピーカーを部屋に配置する

下図を参考に部屋にスピーカーを配置してください。

9.1 チャンネル以外のシステムでお使いになる場合は「取扱説明書」をご覧ください。



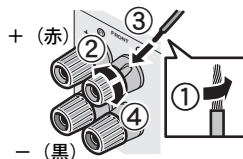
3 スピーカー / サブウーファーを接続する

- ・スピーカーはインピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- ・サブウーファーはアンプ内蔵のものをお使いください。
- ・スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- ・スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因となります。スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入ると、前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示されます。

スピーカーケーブルを接続する

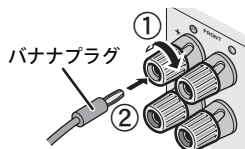
通常スピーカーケーブルは2芯（+と-）で1本になっています。片方で本機とスピーカーの-（マイナス）端子どうし、もう一方で+（プラス）どうしを接続してください。色で区別されている場合、黒を-（マイナス）側、もう一方を+（プラス）側と決めておくこと間違わずに接続できます。

- ① ケーブル先端の絶縁部（被覆）を10mmほどはがし、芯線をしっかりとよじる。
- ② スピーカー端子をゆるめる。
- ③ 端子側面（右上または左下）のすき間にスピーカーケーブルの芯線を差し込む。
- ④ 端子を締め付ける。

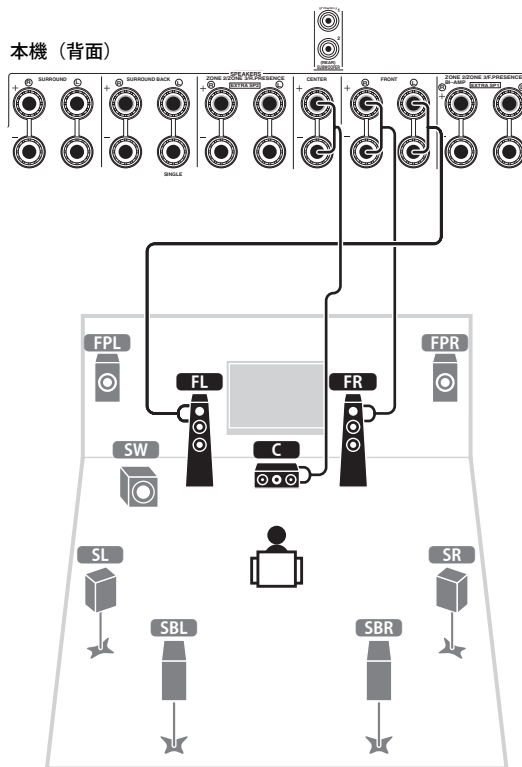


バナナプラグを使用する場合

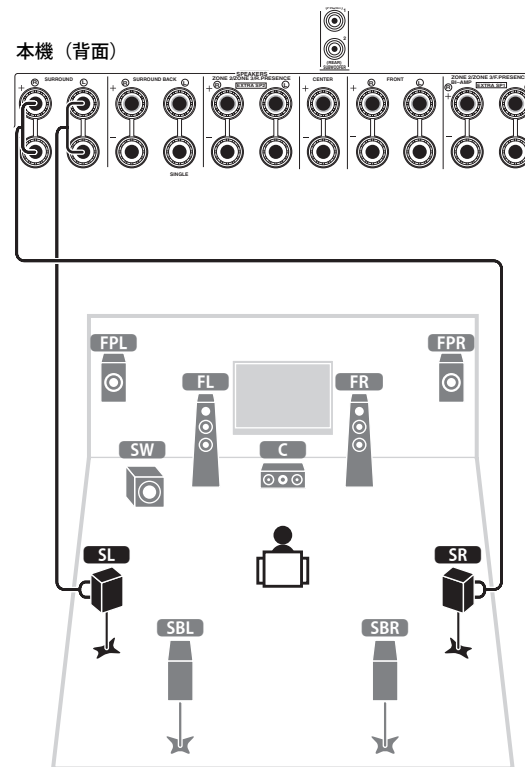
- ① スピーカー端子を締め付ける。
- ② 端子にバナナプラグを差し込む。



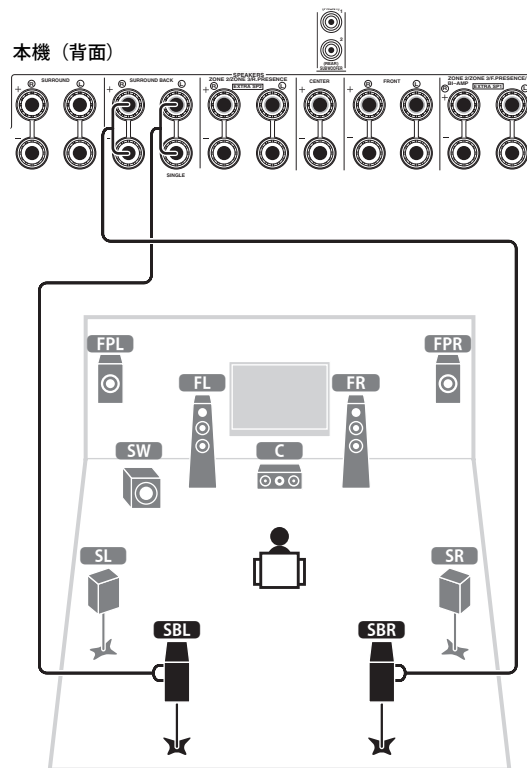
- 1 フロントスピーカー（**FL**/**FR**）を FRONT（**Ⓛ**/**Ⓡ**）端子に、センタースピーカー（**C**）を CENTER 端子に接続する。



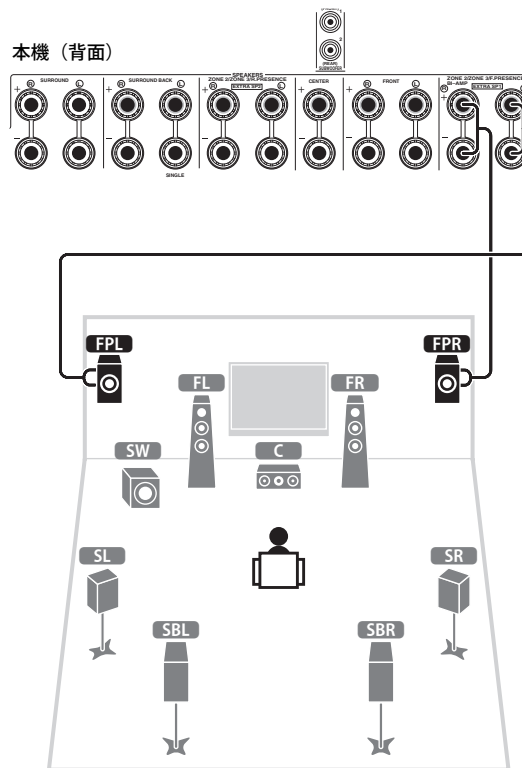
- 2 サラウンドスピーカー（**SL**/**SR**）を SURROUND（**Ⓛ**/**Ⓡ**）端子に接続する。



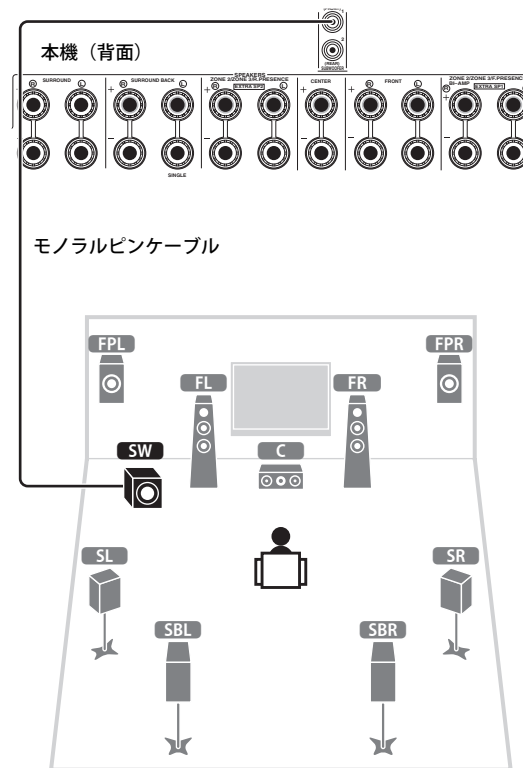
- 3** サラウンドバックスピーカー（**SBL**/**SBR**）
を SURROUND BACK（**Ⓒ**/**Ⓓ**）端子に接続する。



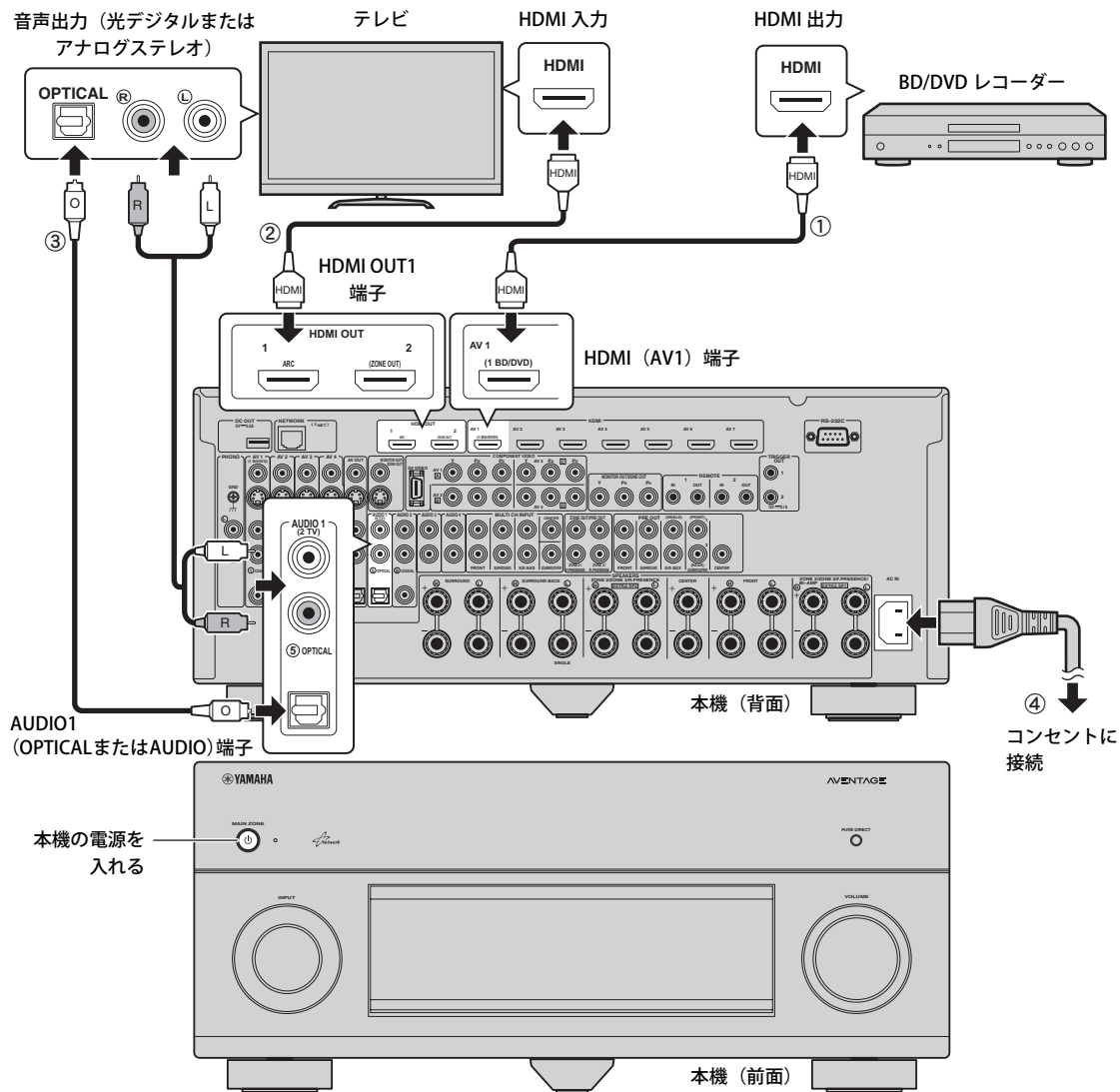
- 4** フロントプレゼンススピーカー（**FPL**/**FPR**）
を EXTRA SP1（**Ⓒ**/**Ⓓ**）端子に接続する。



- 5** サブウーファー（**SW**）を SUBWOOFER（1）
端子に接続する。



4 外部機器を接続する



1 外部機器を本機に接続する。

① HDMI ケーブルで BD/DVD レコーダーと本機を接続する。

HDMI ケーブルで BD/DVD レコーダーとテレビを直接接続している場合は、テレビからケーブルを取り外して、本機に接続してください。

② HDMI ケーブルでテレビと本機を接続する。

③ 光デジタルケーブルまたはステレオピンケーブルでテレビと本機を接続する。

この接続によりテレビ音声を本機で聴くことができます。オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビをお使いの場合は、この接続は不要です。

④ 付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。



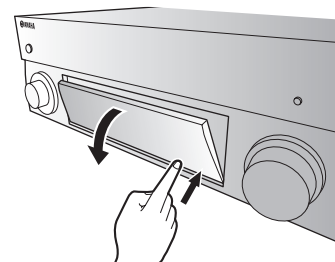
・ラジオのアンテナや、ほかの機器を接続する場合は「取扱説明書」の「準備する」をご覧ください。

2 本機、テレビ、BD/DVD レコーダーの電源を入れる。

3 テレビのリモコンを使って、テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。

これで接続は完了です。次ページでスピーカー設定の自動調整を行ってください。

前面カバーを開く



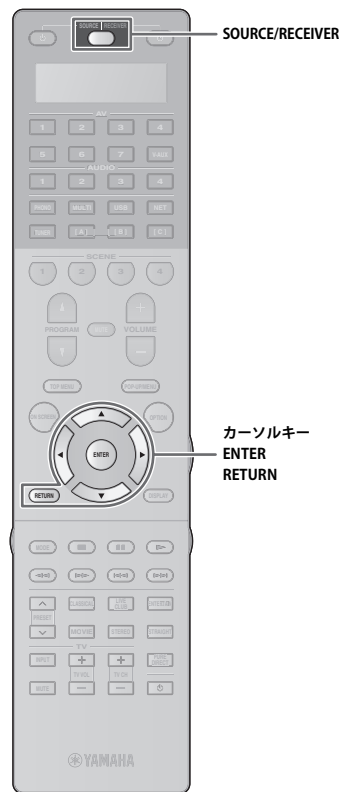
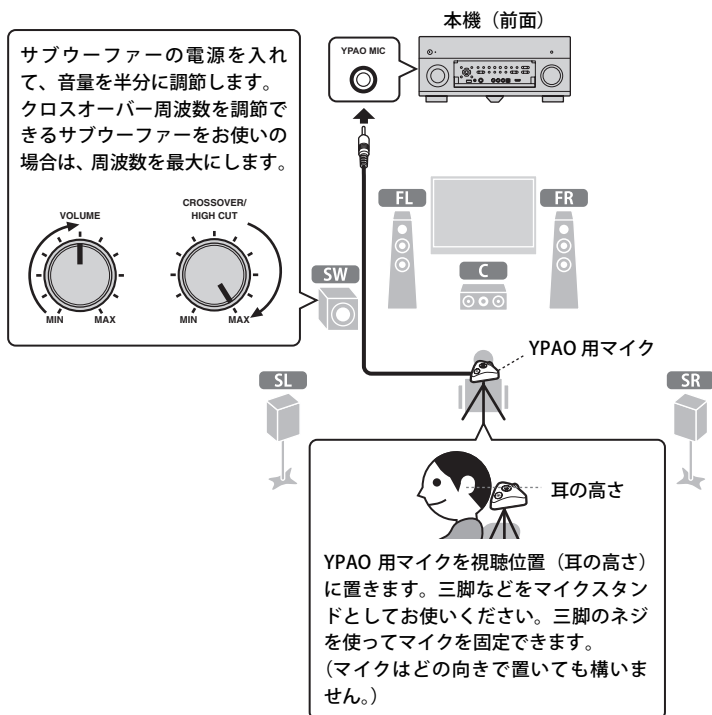
カバーの下側をそっと押す。

5 スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO: Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

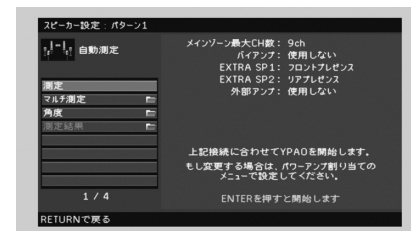
- 測定中は大きな音出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分に配慮ください。また、ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- 測定中は音量を調節できません。
- 測定中は部屋を静かに保ってください。
- ヘッドホンは接続しないでください。
- 測定中は部屋の隅に移動するか退出して、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。所要時間は約 3 分です。

YPAO を始める前の準備



1 YPAO 用マイクを前面の YPAO MIC 端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。

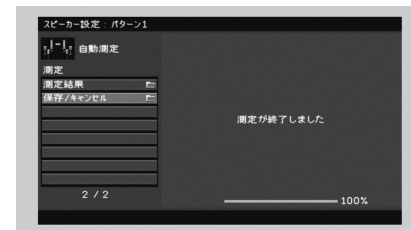


- 操作を中止する場合は、測定前に YPAO 用マイクを取り外します。

2 測定を始めるには、カーソルキーで「測定」を選び、ENTER キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。

測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



- カーソルキーで操作できない場合は、SOURCE/RECEIVER キーを押してキーをオレンジ色に点灯させてから操作してください。
- エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。
- 警告メッセージ「W-1: SP 接続逆相」が表示された場合は『「W-1: SP 接続逆相」が表示された場合』(次ページ) をご覧ください。

- 3** カーソルキーで「保存 / キャンセル」を選び、ENTER キーを押す。



- 4** カーソルキーで「保存」を選び、ENTER キーを押す。



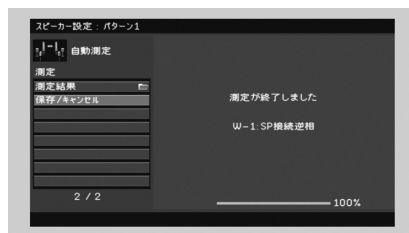
- 5** YPAO 用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

YPAO 用マイクは熱に弱いため、高温になる場所（AV 機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

「W-1:SP 接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。
スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていても警告メッセージ「W-1：SP 接続逆相」が表示されることがありますが、そのままお使いください。



- ① カーソルキーで「測定結果」を選び、ENTER キーを押す。
- ② カーソルキーで「結線確認」を選ぶ。
- ③ 「逆相」と表示されているスピーカーのケーブル接続（+と-）を確認する。

正しく接続されている場合：

測定結果をそのまま保存して問題ありません。

RETURN キーを押してから、手順 3 以降を実行してください。

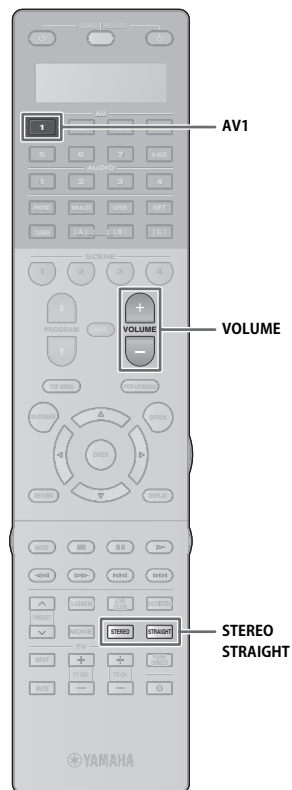
間違って接続されている場合：

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度 YPAO を実行してください。

6 BD/DVD を再生する

実際に BD/DVD を再生してみます。

サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch 以上) が収録されているディスクの再生をおすすめします。



1 AV1 キーで本機の入力を「AV1」に切り替える。



2 BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。

3 STRAIGHT キーを繰り返し押し続けて「STRAIGHT」を選ぶ。



- すべてのスピーカーから音が出るか確認するには、STEREO キーを繰り返し押し続けて「9ch Stereo」を選んでください。

4 VOLUME キーで音量を調節する。



これで 9.1 チャンネルシステムを設置して、本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。

音声サラウンドにならない場合

マルチチャンネル音声を再生してもフロントスピーカーからしか音が出ない BD/DVD レコーダー側のデジタル音声出力設定をご確認ください。
PCM など、常に 2 チャンネルで出力する設定になっている可能性があります。

音が出ないスピーカーがある

「取扱説明書」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

さらにこんな機能も！

ほかにもたくさんの機能があります。

別冊の「取扱説明書」をご参照のうえ、本機の性能を十分にご活用ください。

BD/DVD レコーダー以外の機器を接続する

CD プレーヤーやレコードプレーヤーなどのオーディオ機器、ゲーム機やビデオカメラなどさまざまな外部機器を接続できます。

好みのサウンドを選ぶ

映画、音楽、ゲーム、スポーツ番組など、視聴する内容に合わせて好みの音場プログラム (シネマ DSP) やサラウンドデコーダーを選べます。

iPod の曲を再生する

iPod 付属の USB ケーブルを使って、iPod の曲を本機で再生できます。

■ FM/AM ラジオを聴く

■ USB 機器の曲を再生する

■ パソコン (サーバー) の曲を再生する

■ インターネットラジオを聴く

■ iTunes/iPod の曲をネットワーク経由で再生する (AirPlay)

詳しくは「本機でできること」をご覧ください。